

心豊かな幼児を育む地域との連携を探る

芦屋市立西山幼稚園

地域の保育園との交流を通じて、人と関わる力を育てる 5歳児

一人一人が自分の思いを伸び伸びと出しながら、友達と心豊かに育ち合う幼児の育成を目指してきた。様々な人と関わりながら「やってみたい」という気持ちを育てるために、地域力を生かし、社会生活との関わりを深めたいと考えた。そこで、地域の保育園と連携し、幼児が主体的に活動に参加できるような交流の在り方を探ってきた。5月、初めて出会う同じ5歳児クラス（ぞう組）の友達の訪問を楽しみにし、どのようなことをして迎えようか考える姿が見られた。

1 はじめまして

STEP 1

相手を思う



知らない相手を思いやり、友達と
思いを受け止め合ったりする力が育ってき
ている。
子ども達の考えを遊びに取り入れよう。

（保育園に広いお部屋がないなら）
ホールでにしまランド※を一緒に
したらどう？

いちご組（4歳児）も喜んでたし

いいね、今度はぼく達と同じ大きい
組だから、ジャンプの所、高くした
い！

大きい組さんだから、きっとできる
よ

でも私みたいにちっちゃくて、あん
まり高いのは登れない子もいるかも
よ

じゃあ台を（使えるように）置いて
おいたら？

そうしよう！

※巧技台を使った遊び。前日に4歳児を招待し
た。

STEP 2

工夫して行動する

5月の交流当日



ジャンプの所は難しかったら、
台を使っていいよ



ぞう組さんできるかな

STEP 3

振り返る

ぞう組さん、にしやまランド初めて
なのにできてすごかったなあ…

みんなジャンプ上手にできてた！

ぞう組の友達の名前も覚えたよ

また遊びたい！

もっとレベル上げて
もよさそうだった



全体で振り返ることで、自分達
がしたことへの達成感や次への
意欲、期待感につながるように
したい。

走るのも速そうだから、一緒にリレーもしたら
おもしろいかも

6月の交流日を迎えるにあたり、「ぞう組の子達は名札をつけていないから、名前を覚えるのが難しい」「名前を覚えたら、もっと仲良くなれそう」と話す子どもがおり、「名札を作ったらいい」というアイデアが出た。どのような名札にするか話し合ったところ、自分の好きな形や相手が好きそうな形等、様々な案が挙がった。話し合いから、自分達と同じチューリップの形で、色はぞう組と次回一緒にやって来るらいおん組（4歳児）のクラスカラーであるオレンジと紫にすることに決まった。

2 もっと仲良くなりたい

STEP 1

相手のことを思って関わる

相手ともっと仲良くなりたいという気持ちが
芽生えている。アイデアや思いを実現できる
ように、子どもの手に合った材料や作り方を
提案しながら支えていこう。



ラミネート使ったら硬い名札になる
から、何回でも使ってもらえるね



喜んでくれるかなあ…

チューリップの形がうまくできた！

できた！

名前は自分達で書いてもらおう



字書けない子がいたら？

ぼくが書いてあげる

6月の交流当日



どうやってつけたらいいの？

そっか！普段つけてないもんね
じゃあ、つけてあげる！

好きな遊び ー幼児が主体的に関わる姿を見守るー

うさぴょんこっちにいるよ！

触っていいよ。そーっとね。

生き物との
触れ合い

かわいい！

色水遊び

色が出ないなあ…

こうやって花を強くゴシゴシすると、色が出るよ

芦屋の街を作ってるんだよ。
これが城山だよ。
一緒にしよう！

何してるの？入れて！

砂場遊び

城山って知ってる？
幼稚園のジャングルジムから見えるよ！

後で見に行こう！



それぞれが相手のことを考えながら関わっている。心の動きを丁寧に読み取り、自分の思いを出しながらいろいろな友達と関わることに自信がもてるようにしていきたい。

1学期最終日、保育園の子ども達が交流のお礼の手紙を届けてくれた。これまで、どのようにすれば、保育園の友達が喜んでくれるか、一緒に楽しめるかを考えてきた子ども達にとって、「保育園の友達が自分達のことを思ってくれた」という経験はとても大きく、喜んで手紙を受け取っていた。

STEP 2

思い合える喜びを感じる



ぼくが友達になった子がいるよ

私の友達もいる！

名前もちゃんと覚えてるよ！

今度はもっといっぱい遊べるように泥んこの服を持って来てほしい



にしままつりも一緒にしてみたいな



2学期、園行事である「にしやまつり」のお店屋ごっこを一緒に行うことにした。グループに分かれ、それぞれのお店の準備に取り組んだり、ごっこ遊びをしたりする中で、相手のよさに気付き、アイデアを出し合ったり刺激し合ったりしながら、協力して一緒に活動することを楽しむようになっていった。

3 一緒に遊ぼう！

STEP1

いろいろな友達と協同する

※ 5

新しく作ったゴールにもドングリが入るか試してみようよ

コースアウトしないかな！？



オッケー！外れたら僕が受け止めるから

ぞう組さんのおかげで、いろんなコースがたくさん作れたなあ

どんな模様にする？

ハンバーガーを包む紙がいらないじゃない？

そうだね！



ぞう組さん、いいこと考えるなあ

ハンバーガーの種類で変える？

どの子どももが親しみを持ちやすい遊びをグループ活動として取り入れた。イメージを共有しながら、子ども達が主体的に遊びを進めていけるよう声を掛けすぎないように意識していこう。



STEP 2

共に達成感を味わう

お店屋ごっこ当日



はいー！

ポテトくださーい！



目標を共通にして遊んだ満足感や達成感を味わえるように、それぞれが工夫したところや友達と協力したところを認め、全体で共有していこう。

お寿司屋さん、人気で忙しかったけど、ぞう組さんもお店屋さんに来てくれたから助かった！

ポテト入れるのがうまかった友達がいたよ

ぞう組さんと一緒にできて、すごく楽しかった！



今度は何して遊ぼうか！？

12月に、保育園に招待してもらった。交流の場が他園となり、少し緊張した様子の子どももいたが、温かく迎えてもらい、一緒にいろいろな遊びをする中で、積極的に関わって遊ぶようになった。また、おすそわけをした柿を絵に描いて掲示していたり、西山幼稚園と一緒にした後ろけりを好きになって、普段の遊びに取り入れたりしていることを知り、より親しみの気持ちを深めることができた。

STEP3

関わりを深める

保育園での遊びの様子

西山で教えてもらった後ろけりが好きになったよ



そうなの！？
なんだかうれしい！

ぼく達がおすそわけした柿の絵だ！



上手！

いろんな味の
ジュースがあって
おもしろいなあ



お店屋ごっこ



子ども同士で名前を呼び合ったり、声を掛け合ったりしている。交流を積み重ねる中で、親しい関係が育まれている。



じゃんけん列車

～保育者同士の振り返り～

- ・ 交流を重ねるうちに、幼児同士がだんだん仲良くなっていく様子をうれしく思った。この交流で育まれたつながりを小学校に行っても大事にしてほしい。
- ・ 幼児が友達の思いを受け止めて関わろうとしたり、様々なことに興味関心を広げて遊びに取り入れたりするようになってきている。他園との関わりによって幼児が学びを広げ、深めることを感じた。
- ・ 保育者同士が、交流の積み重ねにより、互いの保育観や活動内容を共有することができた。幼児の学びを見取る観点や、幼児の学びを引き出す関わりの手立てについて考え合ったことを今後各園の保育に生かしていきたい。



～子どもの学び～



- ・これまでの経験をもとに、出会ったことのない友達のことを思い、自分達ができることを考えて相手を迎え入れようとする
- ・いろいろな友達と関わり、一緒に過ごす中で相手のことを知り、親しみの気持ちを膨らませる
- ・人との様々な関わり方に気付き、相手のよさを受け止めたり自分のことを思ってもらったりする心地よさや、人とつながる楽しさを感じる

※ 5

の学びの接続

小学校以上の教育

国語 生活 図工 算数

関連する教科

関連する10の姿

社会生活との関わり 思考力の芽生え 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

知識及び技能の基礎

思考力、判断力、表現力等の基礎

- ・いろいろな素材や道具を使って、お店屋ごっこに必要な物を作る
- ・保育園の友達のアイデアを取り入れたり、新しいことに気付いたりする

- ・お店屋ごっこに必要な物を考え合い、チームの友達と協力して作る

遊びを通しての
総合的な指導

幼児教育

- ・保育園の友達のよさや、一緒に活動を進める楽しさを感じる
- ・互いの思いや考えを受け止め合う大切さに気付く
- ・保育園の友達とお店屋ごっこをすることへの期待を膨らませる

学びに向かう力、人間性等

地域の同年齢の友達と関わることで、互いに刺激を受け合い、意欲的に遊んでいた。交流を積み重ねる中で、いろいろな友達と関わる楽しさや自信を感じ、見通しや目標をもちながら主体的に遊びを広げるようになった。また、互いの保育の在り方や、幼児の成長や学びを共有し、保育者同士の学び合いにもつながった。